

‘09年12月12日 湯河原観望会*by kuma*

12月12日。丹星の仲間たちと一緒に湯河原町で観望してきました。

富士山スカイラインも既に閉鎖したため、来春までは五合目に代わる観望地を探す事になりますが、富士山二合目は寒いし天城伊豆方面は遠い。丹星のメンバーは神奈川県西部に在住の方が多く、湯河原なら距離も近い上に気温も比較的温暖である事もありがたいです。10年前ならワンランク上の空を求めて遠くまで遠征していたものですが、まあみんな寄る年波には勝てないと言ったところですね。

この日は天候が不安定ながらもメンバーの同僚家族を含めて15名もの方が集まり、結構賑やかな観望会になりましたが、場内貸し切り状態なので周りに気を遣う必要もなくのんびりとした観望が出来ました。



前回受けが良かったので今回もおでんを仕込みましたが、まあ喰い付きの良かった事。大鍋二杯分の具材が、あっという間に完食という盛況ぶりでした。

photo nekonyan

腹ごしらえも済んで機材に戻ったところ、ドブのミラーボックスが夜露でかなり濡れている!?

この日は序盤から大量の夜露に見舞われ、大半の機材が一晩中悩まされる事になりました。ドブは、主鏡、斜鏡、二つのファインダーと全ての光学系がやられてしまい、どうやら前日の雨による湿気を含んだ地面と、日中の温暖な気温の影響をモロに受けてしまったようです。

アミーゴさんに簡易ドライヤーを拝借して何とか凌ぎましたが、ここまで酷いのは数年前の西臼塚以来で、ファインダーは内部のレチクルパターンにまで影響が現れていました。

南側の一部に雲が残る中、うらしまさんが西に傾いた木星に筒先を向ける。案の定シーイングがイマイチで像が安定していないとの事。私の場合こうなると木星は今宵の観望対象ではなくなります。実際この後ただの一度も筒先を向ける事はありませんでした。

この日はふたご座流星群の極大 2 日前とあって、そこそこの数の群流星が飛んでいましたが、私は例によって大半を見逃していたのでした。

今夜はハーシェル 400 の対象を中心に観望する予定でしたが、夜露のおかげで観望意欲が湧かず、メジャーどころを幾つか流したに留まりました。

エリダヌス座の新星だけは見るつもりで詳細星図まで準備してきたので、ほど良い高さまで昇ってから導入してみました。



photo nekonyan

まだ低空でしたがリゲルを基点に星を辿り何とか導入します。予想以上に暗く、近くの星との比較だと 10 等級程度まで減光していたようです。他の機材でも見てみましたが、透明度の影響もあり kitty ドブ以外では確認が出来ませんでした。トラスカバーが夜露で光っているのが判りますね。

夜半過ぎから空の状態が悪化して雲で覆われる時間帯が多く、結局ラストまでこの状態が続きましたが、ちょうど隙間から火星が顔を出したので、早速うらしまさんが導入してくれました。



photo nekonyan

うらしまさんの C8 で火星を見ているところ。私も見せてもらいましたが、視直径もそこそ大きくなり中央付近には濃い模様も見えています。シミュレーターで調べたところ、サバ人の湾と大シルティスが並び、火星で最も色濃い部分が見えていたようです。後ほどドブでも見ましたが、シーイングがやや回復したおかげで白い極冠が明瞭に見えていました

うらしまさんはこの後も雲間を見つけては色々な対象を見せてくれたようですが、夜露のおかげでどうにも戦意が上がらない私はkitty ドブを寝かして椅子でのんびりモード。この日はまともに観望をしていないので、これ以上の観望記が書けませんが、ふたご群の前哨戦としてはそここの成果があり、メンバーによっては二桁数の群流星を見たようです。

私とは日頃の行いの差なのでしょうか。



photo urashima

夜半前にうらしまさんが撮影した貴重なワンショットです。
低空の雲がまるでオーロラのようなようです。
この後しばらくして空が雲で覆われてしまいました。

結局朝まで天候が回復する事はなく、雲間を狙って幾つかの対象を見たのみでしたが、気温も温暖で無風でしたので、寒さに凍えることもなく過ごしやす一夜でした。
今夜は夜露に祟られた印象しか残りませんでした。この温暖な気温はなかなか捨て難く、春までの間はここに通う事になりそうです。

参加の皆さん、どうもお疲れ様でした。

了